

## 令和6年能登半島地震で被災された皆さま、 ならびにご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます

市では、令和6年能登半島地震の被災地支援のため、県の要請に基づき税務課職員を派遣し、富山県射水市で住家被害認定調査支援を行い、また、つがる西北五広域連合では、つがる総合病院災害医療派遣チームDMA T(ディーマット)が石川県穴水町で医療支援を行いました。

厳しい避難生活が続く被災地の日も早い復興のため、今後もさまざまな形で支援してまいります。

### 射水市での住家被害認定調査支援

税務課の三浦係長は、県からの要請を受け1月14日から20日まで射水市への派遣となり、り災証明の交付に必要となる家屋の被害認定調査を行いました。

三浦係長は「倒壊している家屋こそなかったが、地盤への被害は大きく、液状化現象や地割れなどが発生し、家屋の基礎に多くの被害が見受けられた。調査に同行した射水市職員の話聞き、いつ身近で起きてもおかしうはないのだと感じた。発生から1週間足らずで派遣を決めた県の迅速な判断、また、その協力要請を受けて即時に市町村間で連携し対応したこの経験を今後に生かしていきたいと思う」と話しました。



傾いた玄関やひび割れたコンクリート

### 穴水町での医療支援

つがる西北五広域連合の江良係長は、厚生労働省DMA T事務局からの要請を受け1月7日から11日まで穴水町への派遣となり、救急外来対応や入院患者の転院搬送を行いました。

江良係長は「道路が隆起しているため、制限速度の半分程度でしか移動できず、転院搬送には非常に苦労した。また、水道水が出ないことは想像以上に厳しい環境で、トイレの問題はもちろん、感染症対策など、さまざまな問題が発生するため、日頃から食料や飲料水、簡易トイレのほか、可能な手洗いなどの雑用水も備蓄しておくことが大切だと感じた」と話しました。



地面が隆起した穴水総合病院

### 「令和6年能登半島地震災害義援金」を受け付けています

日本赤十字社では、能登半島地震災害への義援金を受け付けています。

ゆうちょ銀行・郵便振替、銀行振込のほか、市役所本庁舎、金木・市浦各総合支所に募金箱を設置しますので、皆さんからの善意をお待ちしています。

受付期限…12月27日(金)

ゆうちょ銀行・郵便振替の場合…郵便窓口での取扱いの場合、振替手数料が免除されます。

▷口座加入者名

日赤令和6年能登半島地震災害義援金

▷口座記号番号「00150-7-325411」

\*通信欄に「令和6年能登半島地震」と明記し、受領証発行希望の場合は「受領証希望」と記載ください。

銀行振込の場合…各支店に専用振込用紙を設置しています。

▷青森銀行新町支店 普通預金「16000」

日本赤十字社青森県支部

▷みちのく銀行青森支店 普通預金「4200888」

日本赤十字社青森県支部

\*ATMからの振込の場合は手数料が発生し、氏名の後に「令和6年能登半島地震」と入力する必要があります。

\*このほかメガバンク口座への振込があります。詳しくは日本赤十字社ホームページをご覧ください。

問い合わせ先

福祉政策課 内線2493

## 「災害への備え」見直してみませんか？

能登半島地震以前にも「阪神・淡路大震災」や「東日本大震災」など、日本ではこれまで多くの地震災害が発生しています。当市においても、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震を始めとする地震による被害が想定されており、いつ、大きな地震に見舞われてもおかしくない状況です。

このような災害への対策には「自助」「共助」「公助」の三本柱が重要とされ、市民一人ひとりと地域、行政で一致団結する必要があります。

自分や家族の命を守るため、この機会に災害への備えを見直してみませんか？



### 【自助】まず、自分と家族が助かるためにできること

日常的な備えの一例を紹介します。できることから始め、災害に備えておきましょう。

#### 例1) 家具が倒れてくる場所には寝具を置かない

家具が倒れてくる場所で寝ていると、地震の際に下敷きになってしまい、けがをしたり、逃げられなくなってしまいます。自分の家の寝具周りは安全を確認しましょう。



#### 例3) 家族のきまりごとを決める

家族の集合場所や連絡方法を決めたり、避難場所・避難所の確認しておくなど、普段から家族で防災について話してみましょう。



#### 例2) 備蓄食料は日常的に食べて買い足す

ローリングストック法といい、普段から少し多めに食料や加工品を買い置き、消費期限の近くなったものから消費します。消費した分だけ買い足すことで、常に新しい食料を一定量備蓄できます。



こうした災害への備えのほか、命を守るための行動や避難生活乗り切りのための対策等については、県が作成した「あおりおまもり手帳(青森県防災ハンドブック)」で紹介されています。

詳細は「あおりおまもり手帳」で検索、または右QRでご確認ください。



公式マスコットキャラクター  
「おまもりス」



### 【共助】地域で助け合うためにできること

自分や家族が助かった後は、隣同士や近所の皆さんで助け合うことも重要です。阪神淡路大震災では、救助された人の約8割が家族や近所の方々に救助されているなど、大規模な災害になればなるほど、町内会などの地域コミュニティでの相互の助け合い(共助)が重要となってきます。

#### 自主防災組織を結成しましょう！

普段から地域コミュニティで災害に備えるため、当市では「自主防災組織」の結成を呼びかけています。

自主防災組織とは何か、組織の作り方など、各地域や町内会に伺ってお話しますので、お気軽にお問い合わせください。

地域の自主防災組織へ加入し、訓練や研修会に積極的に参加しよう！

地域にまだ自主防災組織がなければ結成しよう！



問い合わせ先…防災管理課 内線2142